

公共建築物のアスベスト含有吹付け材等の再調査について

公共建築物のアスベスト含有吹付け材等の対策については、平成17年度に実態調査を行い、その使用が判明した施設に対しては、基本的に除去・封じ込め・囲い込み等の必要な措置を講じてきました。

吹付け材等に含まれるアスベストは主にクリソタイル、アモサイト、クロシドライト(「主要3種類」という)とされております。横浜市がこれまで実施した調査では、主要3種類以外のアスベストであるトレモライト、アンソフィライト、アクチノライト(「その他アスベスト」という)についてもその有無をほとんどの施設で確認済みですが、一部の施設でその他アスベストが未確認ですので、再調査を実施します。

1 調査対象とする公共建築物

吹付け材等について、平成17年度に行った調査の中で、アスベストが検出されなかったとした施設のうち、その他アスベストが未確認の施設 - 約50施設(全435施設中)

平成17年度の実態調査概要と今回の調査対象

施設総数	アスベスト含有の可能性のある吹付け材等を使用していない施設数	アスベストが検出された施設数	アスベストが検出されなかった施設数
2154	1626	93	435 <u>うちその他アスベスト未確認50程度</u>
	(アスベスト対策不要)	(基本的にH19年度までに必要な措置を講ずる)	(再調査実施後、検出された施設には必要な措置を講ずる。)

2 調査スケジュール

平成20年度当初を目処に再調査を進めていきます。

3 調査結果に基づく対策の実施

アスベスト含有吹付け材の使用が判明した施設については、施設の使用状況等に応じ、早急に必要な措置を講じていきます。

(参考)

1 アスベストの種類

蛇紋石系	クリソタイル(白石綿)
角閃石系	クロシドライト(青石綿)
	アモサイト(茶石綿)
	アンソフィライト
	トレモライト
	アクチノライト

2 横浜市アスベスト対策会議について

(経緯) 平成 17 年8月5日、アスベストによる環境及び健康に対する諸問題に対して、庁内における対策の充実強化を図るために設置し、これまで5回開催した。

(メンバー) 副市長を議長とし、関係局区長を構成メンバーとする。